



池波正太郎が愛した江戸をゆく  
パート1(城東・下町篇) 鶴松房治・案内人  
今なお愛され続ける、池波正太郎が描く世界。「鬼平犯科帳」「剣客商売」「仕掛人・藤枝梅安」などの舞台になった地の、今と昔に思いをはせてみませんか。パート1では、上野、浅草などを紹介します。

## 瀬戸内市文化祭講演会

### 「宇喜多秀家と八丈島」

市の重要文化財に指定されている砥石城跡(邑久町豊原)は、宇喜多氏ゆかりの山城跡地として知られています。市内の公民館で行われる瀬戸内市文化祭の事業の一つとして、柴田一氏を講師に迎え、宇喜多秀家についての講演会を開催します。

講演では、八丈島へ配流された後の話などを盛り込みながら、秀家の人間像に焦点をあてその魅力に迫ります。また講演の他に、詩吟に合わせ刀を抜いて舞う剣詩舞も披露します。



砥石城跡

館講座「市民セミナー」では、市の各種制度、時事問題、文化などについてわかりやすく説明します。

- ▽日時 10月22日(土) 午前10時～午前11時45分
- ▽会場 中央公民館
- ▽講師 柴田一氏(財団法人岡山県郷土文化財団理事長)
- ▽参加費 無料
- ▽問い合わせ先 中央公民館

今回のテーマは市の文化財です。現在の瀬戸内市から備前市にかけて広がっていた邑久古窯跡群は、古墳時代後半に朝鮮半島から伝えられ、備前焼の起源となった須恵器の一大生産地でした。その中心となっていた寒風古窯跡群について、発掘調査時のスライドを使った解説と窯跡の見学を行います。

- ▽日時 10月5日(水) 午前10時～午前11時30分
- ▽集合場所 寒風陶芸会館
- ▽講師 社会教育課職員
- ▽参加費 300円(年間登録料)
- ▽申込期限 10月4日(火)
- ▽問い合わせ・申込先 中央公民館

史跡にふれ歴史を学ぶ市民セミナー  
本年度新しく開講した公民館

### 宇喜多秀家ってどんな人？

宇喜多秀家(1573～1655)は、備前国岡山城主の宇喜多直家の次男として生まれ、父の病没により9歳で家督を相続しました。

羽柴秀吉(豊臣秀吉)に気に入られ、養子扱いの厚遇を受けました。秀吉の天下取りの戦いに積極的に参戦し、数々の戦功を挙げ、豊臣政権の最高機関である五大老に任じられました。

秀吉没後の関ヶ原の戦いでは西軍の主力となって奮戦しましたが、敗走し、八丈島へ配流されました。約50年後、83歳で没しました。



## 瀬戸内発見伝

### 巻の八十一

### 国の重要文化財に指定

## 大賀島寺千手観音立像

瀬戸内市には古くから継承されてきた歴史遺産や伝統文化が数多くあり、国、県、市は文化財に指定することで、保護・保存・伝承を支援しています。

6月27日、大賀島寺(邑久町豊原)の千手観音立像が、



大賀島寺本堂

平安時代初期の彫像の優品としてわが国の文化史上貴重なものと認められ、国の重要文化財に指定されました。

この指定により、瀬戸内市内の国指定重要文化財は彫刻が1件増えて5件になり、総数は19件になりました。

### 大賀島寺

大賀島寺は、大雄山山頂にある天台宗の寺で奈良時代に創建され、備前国津高郡波河(現在の岡山市北区芳賀)で生まれたとされる僧侶・報恩大師の開いた備前四十八カ寺の一つと伝えられています。

本堂は、元亀元年(1570)に炎上し、慶長元年(1596)に復興、現在の建物は安永10年(1781)に再建されたものです。

宇喜多家の系図には忠家の子感応院が大賀島寺の住職になったとあり、宇喜多家の本拠地長沼郷に近いことから菩提寺として尊崇されました。このため、宇喜多家没落の後、一時は衰退していました。

本堂の外観は、寺院本堂としては一般的な入母屋造、本瓦葺です。正面柱の間隔は、中央の柱間を広く取り、その外側の柱間を狭くする特別な技法が使われ、雄大さを演出しています。

### 千手観音立像

千手観音立像は、大賀島寺



木造千手観音立像部分

の本尊として本堂須弥壇上の造り付け厨子内に安置されています。

髪や脇手のほとんどを含め、全体が榎と見られる針葉樹一木で作られた像で、髻頂から台座までの像高は122.7センチです。

本像には平安時代初期の作例に特徴的な形式や表現が集約的に用いられていますが、その姿はさまざまな点で特色に富んでいます。

腰をひねり、片膝をゆるめき出そうとする姿の千手観音像は、他に例がありません。

着衣については、背面で条帛と天衣がたすきがけ状に

交差しており、同様の作例は8世紀末から9世紀に見られます。特徴的なのは体正面を斜めにわたる条帛で、膝にまで及んでいます。平安時代初期に腰まで下がる作例がありますが、膝まで及ぶものは他にありません。

彫り口は大胆で力強く、着衣の凹部を深くえぐり、ふちや凸部を鋭く立上がらせ、動きや体の起伏に応じたひだを刻み、随所にふちのうねりや交錯するさまが克明に表現されています。

本像は、33年毎に開帳される秘仏として伝えられます。今回の開帳は平成30年(2018)となっています。

### Books



### 108匹きめのひつじ いまいあやの え・ぶん

眠れなくなってしまった「メイ」という女の子のおはなし。眠ろうと羊を数えても眠れません。そして108匹目の羊を数えようとしたときに事件が！やさしい色づかいの絵本で、お休み前の読み聞かせにもお勧めです。

今月の月末図書整理日(お休み)は、**10月28日(金)**です。  
■貸し出し・問い合わせ先  
瀬戸内市立図書館 ☎0869-22-3761  
長船町公民館図書室 ☎0869-26-2501  
牛窓町公民館図書室 ☎0869-34-5663  
HP <http://lib.city.setouchi.lg.jp/>